

安全で魅力的な町づくりを

安心して住める町に

問 新しい町づくりは景観や機能、環境に配慮し、魅力的で安全に暮らせる町にすべきと思うが。

佐藤町長 中心街はコンパクトで利便性の高い、にぎわいのある業務地に。住宅地は避難路・生活道・公園緑地を整備し、安全で住みよい町に。災害危険区域は産業用地や公園事業を導入して整備したい。

問 山田らしい町をつくるということで、電線の地下埋設などを考えては

どうか。

阿部建設課長 町全体を地下埋設にすることは難しいが、一部の地区での無電柱化を検討している。

問 高台移転集落、新しいふるさとづくりに住民や自治会を参加させ、住民による町づくりを考え

上林企画財政課長 仮設住宅の組織づくりに対しても応援してきた。自治会の組織づくりも応援していきたい。



自治会による花壇の整備（長林）

人口減少に対する対策は

町の総合戦略を策定し対応

問 少子化・人口減少対策として、子育て環境の整備、雇用の拡大、労働環境の改善など、具体的対策はあるのか。

町長 人口減少の最大の対策は「住まいの確保」と「産業の再生」と考え、

復興事業を最優先に進めていく。人口減少や地方の活性化を促すため「総合戦略」が閣議決定されたが、町でも新たな対策を検討し、町の総合戦略を策定したい。

問 新子育て支援策の一

つとして、医療費補助を中学生まで引き上げては。

町長 他議員からも同じ質問があり、現在詰めているところである。

いじめ・不登校の実態は

大きな問題になるような報告はない

問 新聞報道によると、本県児童生徒の不登校やいじめが増えていると言われるが、本町の実態はどうか。

問 不登校傾向の児童生徒が21人というのは多いのではないか。いじめとの関係がないか心配だ。

佐々木教育長 いじめについては大きな問題になるような報告はない。不登校傾向にある小中学生は26年10月末時点で21人。教職員等のきめ細かな指導で改善した事例もある。

教育長 学校からの報告では、いじめに特化した不登校はないと認識している。成長過程にある子供たちであり、不登校も一様でない。スクールカウンセラーによる家庭訪問などをして改善を図っている。

その他の質問

- ◆ NPO問題について
- ◆ 総選挙の時の影響について
- ◆ 学力検査の結果について
- ◆ 教育を取り巻く職場環境について